中央保健所における措置対応業務の現状と課題

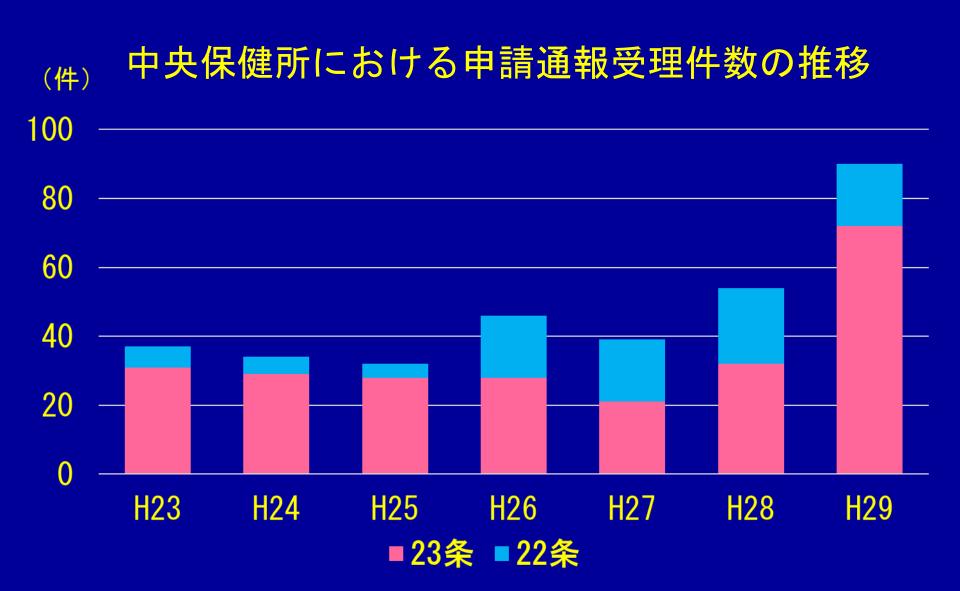
〇 日髙 真紀 上原 千枝 杉尾 重子*² (中央保健所 中川 優馬 戸髙由佳里 藤﨑 淳一郎

*1障がい福祉課

萩原 嬉胡 蛯原 夕起子*1

*2高鍋保健所)

はじめに



対象と方法

対象

平成29年度中に、当保健所において申請通報を受理した90件。

方法

事前調査票、移送記録票、経過記録等をもとに措置対応業務について集計分析。

結果

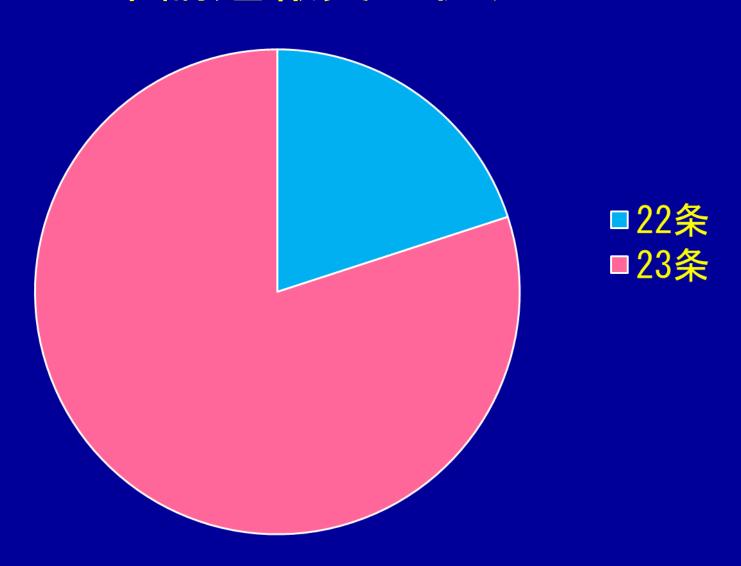
申請通報件数



措置診察数

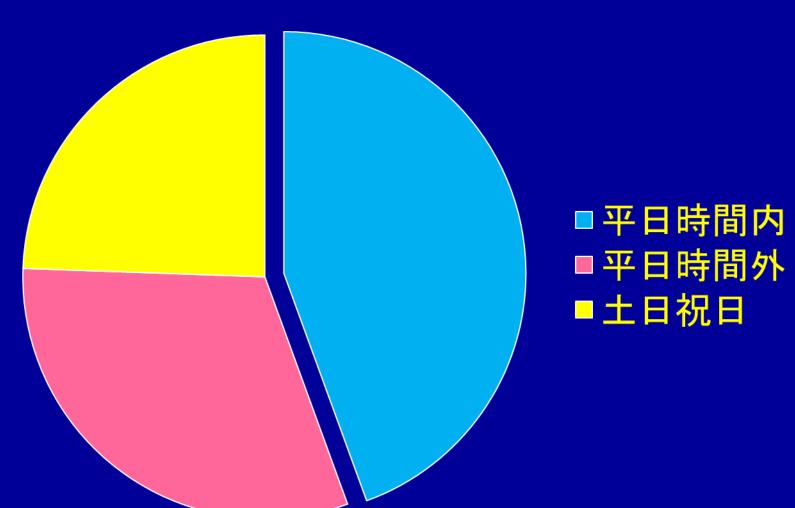


申請通報受理状況



通報受理時間帯

N = 90



中央保健所における措置診察実施件数の推移

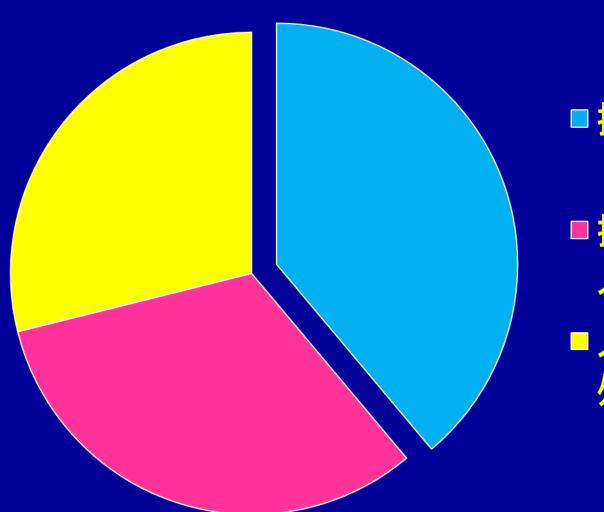


措置診察実施状況

措置診察件数	152件
措置診察従事指定医数	35名
指定医1人あたりの 平均診察件数	4. 3件

措置診察結果

N = 90



■措置入院

- ■措置以外の 入院
- ■入院以外の 処遇

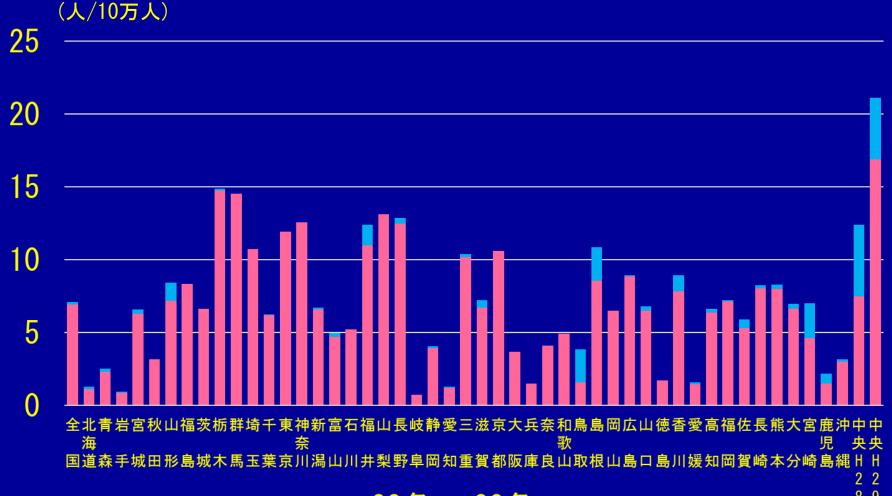
措置対応業務平均所要時間



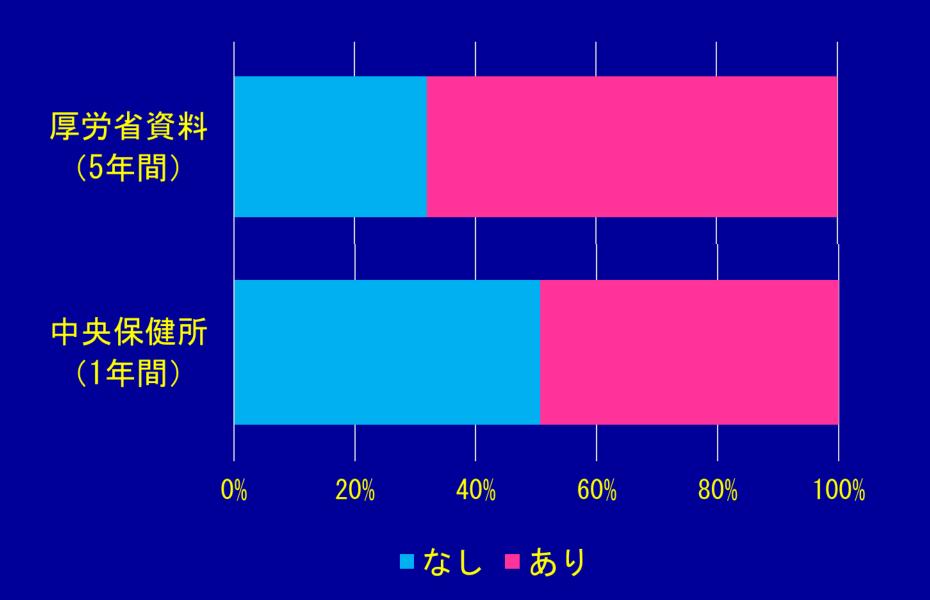
- ■緊急措置所要時間
- ■措置対応所要時間 ■結果別平均時間

考察

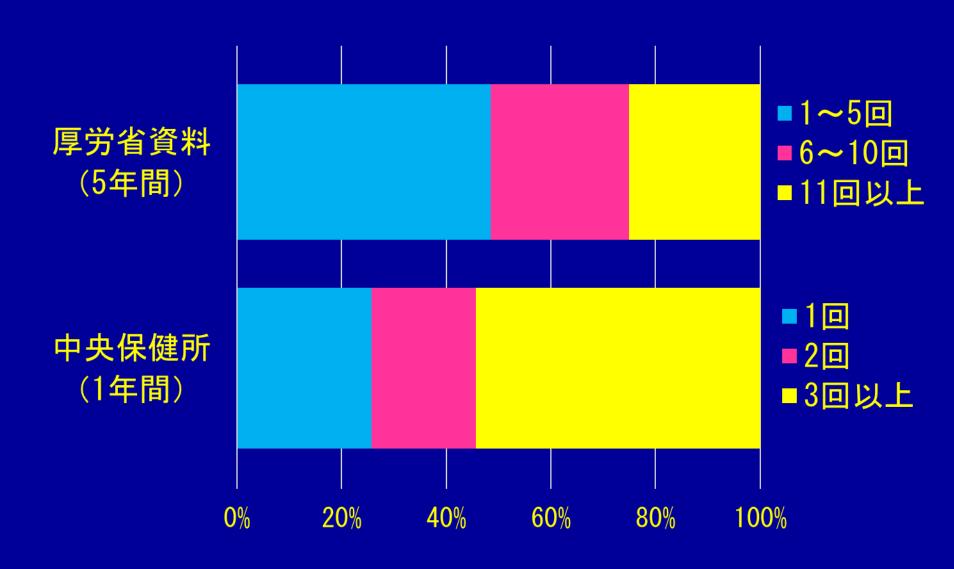
平成28年度都道府県別 22条申請及び23条通報後の措置診察数



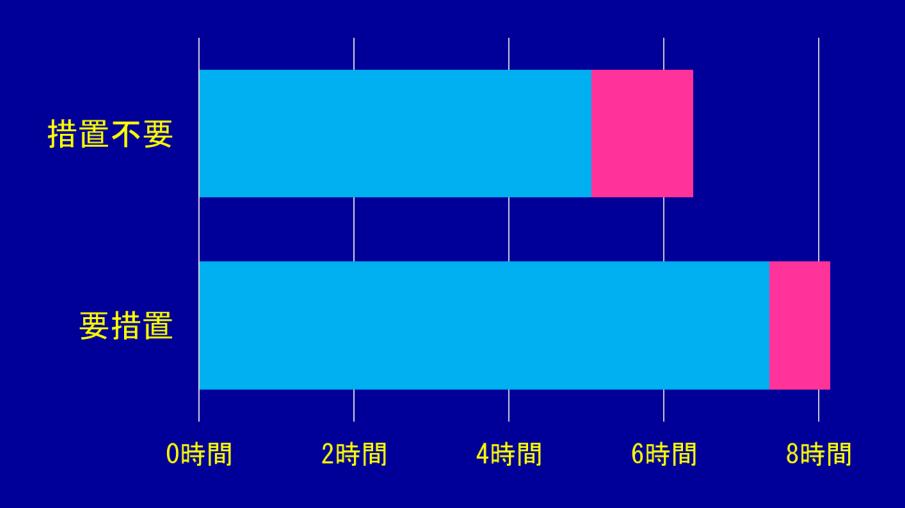
指定医業務の頻度【措置入院の判定】



指定医業務の頻度【措置入院の判定】

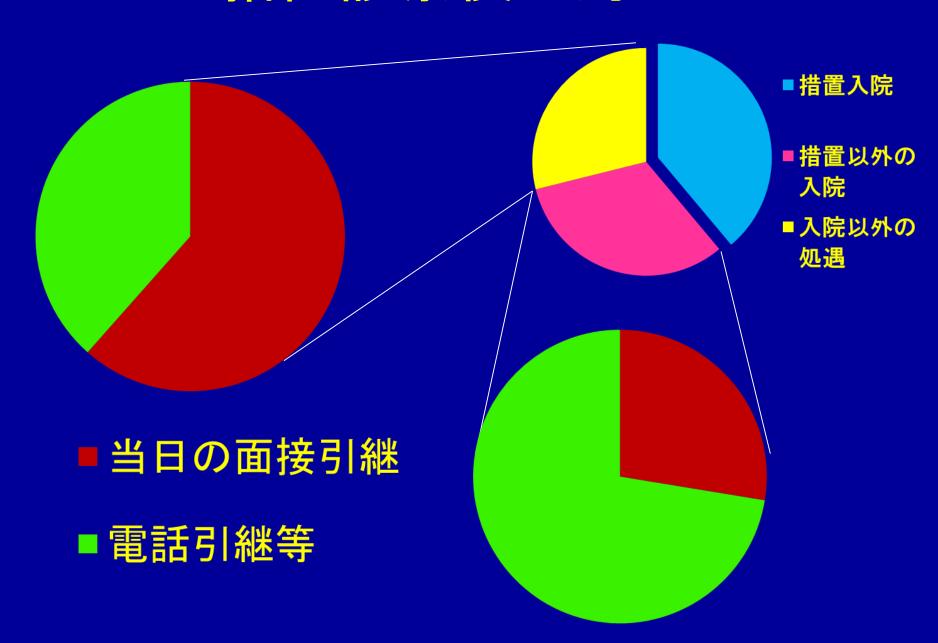


措置対応業務総所要時間



■措置対応業務
■措置業務終了後

措置診察後の対応



今後の課題

- ●申請通報件数の増加に伴う診察件数の増加
 - ⇒ 措置診察指定医の確保体制の構築
- ●措置対応業務量の増加
 - ⇒ 措置対応及び相談支援に 対応できるマンパワーの確保
 - ⇒ 24時間365日、オンコール体制の 待機業務についての検討